

検診結果が異常の場合は

検診の結果異常が認められた場合は、数か月以内に再検査を受け、また、必要に応じてはcolposcopy(膣鏡診)を受けるよう通知されることがあります。

colposcopyとは、colposcope(膣鏡)を使用して子宮頸部を調べる検査です。膣鏡はスタンド付きの双眼鏡のような形をしており、子宮頸部と膣壁を拡大観察して異常な細胞を見つけることができます。(詳しくは「Colposcopy」(パンフレットコードHE1202、英語版のみ)をお読みください。)

Ma te mōhio ka ora 健康増進に正しい知識を

重要なお知らせ

以下の症状がある場合には、かかりつけの医師に相談しましょう

- 生理と生理の間での出血
- 性交後の出血
- 閉経後の出血
- 骨盤内の慢性的な痛み
- 性交中の痛み
- 異常なおりもの。このおりものには臭いがあったり、白からピンク、茶、緑に変色していたり、血が混じったりしていることがあります。

以上の症状は様々な理由で起こるため、実際に子宮頸がんである場合は非常に稀ですが、医師の診察が必要です。

National Cervical Screening Programme (国民子宮頸がん検診プログラム)

このプログラムは子宮頸がんの予防を目的としており、子宮頸がん検診を受けたことのある女性は、このプログラムへの不参加を表明しない限り、全員がこのプログラムの対象となります。

当プログラムでは、子宮頸がんの検診情報を記録することにより、

- 受診者、検診実施機関、そして検診結果を判定する検査機関の全員が、すぐに検診記録を入手できるようになります
- 受診者には、定期検診の時期を過ぎると、自動的に検診を呼びかける書状が送られます
- 検査結果が異常であった場合に、適切な追検査が行われたか確認できます
- 様々なエスニック・グループのニーズを考慮したプランニングが可能となります

当プログラムの実施状況は、すべての女性が可能な限り最高水準の検診と治療を受けられるよう、国家品質基準に従い定期的に評価されています。

当プログラムが収集する情報

当プログラムでは、受診者の個人情報、連絡先、関連病歴、子宮頸がん検診結果と治療に関する情報が収集されます。こうした情報は秘密厳守で扱われ、NCSPレジスターと呼ばれるコンピューターシステムに保管されます。このシステムは保健省の国民検診部門の管轄下にあります。当プログラムに関連する法規については、小冊子「Prevention of Cervical Cancer: A Guide for Women in New Zealand(子宮頸がんの予防: ニュージーランドにお住いの女性のためのガイド)」(パンフレットコードHE1328、英語版のみ)をご請求ください。

- 当プログラムへの加入は、誰もが随時取りやめることができます。その場合は、必要事項を記入した所定の用紙か、その旨を書いた書状をプログラム運営当局までお送りください。
- その後、氏名、住所、生年月日とNHI number(国民保健検索番号)は保管されますが、フォローアップが行われないように検診記録についての情報は当プログラムから入手できなくなります。
- また、プログラムへの再加入も随時行えます。その場合、当プログラム下での検診記録は、最新の検診から始まります。

詳細は以下でご確認ください

かかりつけの医師や検診実施機関では小冊子「Prevention of Cervical Cancer: A Guide for Women in New Zealand(子宮頸がんの予防: ニュージーランドにお住いの女性のためのガイド)」(パンフレットコードHE1328、英語版のみ)を無料配布しています。

当プログラムウェブサイト: www.cervicalscreening.govt.nz

このパンフレットおよび他の一般向け保健資料は保健省ウェブサイトで: www.healthed.govt.nz

お問い合わせはこちらへ

- National Cervical Screening Programme
フリーダイヤル0800 729 729
- かかりつけの医師や所属の看護師
- パシフィック・アイランダー向け健康相談所、マラエ付属などのマオリ人向け健康相談所
- 各地域の女性向け健康相談所
- 各地域のファミリー・プランニング・クリニック
- 各地域のがん協会

さらに詳しい情報については、National Screening Unit, the Ministry of Health(保健省国民検診部門、電話: オークランド (09) 580 9000、またはウエリントン (04) 496 2000)までお問い合わせください。

住所が変更になった場合は、検診実施機関および当プログラム運営当局(フリーダイヤル0800 729 729)までご連絡ください。

子宮頸がん検診



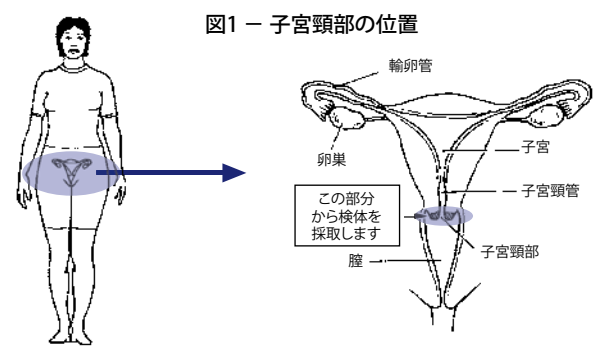
女性が知っておきたい 検診の知識

Taku hauora, taku tinana,
taku tūmanako
私の健康、私の身体、私の未来



キア・オラ、ようこそ

National Cervical Screening Programme(国民子宮頸がん検診プログラム)に加入して、3年おきに子宮頸がん検診を受けることは、子宮頸がんの予防につながります。子宮頸がん検診では、子宮頸部の表面細胞に異常な変化が起きていないかどうかが検査できます。(以下図1参照)



子宮頸がんヒトパピローマウイルス

- 子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)です。HPVは性交渉により感染し、ほぼ誰もが一生のうち一度は感染するウイルスです。
- HPVには多くの種類があり、HPV感染のほとんどは自然に治癒します。
- HPVのうちのわずか数種類が、がんへと進行する異常な前がん状態の細胞を作り出します。
- HPVの持続感染には治療法がありませんが、HPVが作り出す異常な細胞は治療が可能です。

3年ごとの子宮頸がん定期検診は、このように異常に変化した細胞を見つけて治療を行い、子宮頸がんへの進行を予防する最良の手段です。

子宮頸がん検診の対象者

性交渉の経験がある20歳以上の女性は全員、70歳になるまでは子宮頸がんの定期検診を受けましょう。

子宮を摘出した女性は、子宮頸がん検診が必要かどうか、かかりつけの医師または検診実施機関にご確認ください。

子宮頸がん検診の実施機関

子宮頸がん検診は、以下の様々な機関で受けられます。

- かかりつけの医師や所属の看護師
- ファミリー・プランニング・クリニック
- 性の健康相談所
- マラエ付属などのマオリ人向け健康相談所
- パシフィック・アイランダー向け、女性向けなど、地域の各種健康相談所

上記の多くの機関では女性が検診を担当しています。

検診料は、医師や所属看護師の通常の診察料となります。ただし、一部の地域保健機関や第一次保健機関(PHO)では、無料または低料金での検診を行っています。

子宮頸がん検診の間隔

- 子宮頸がん検診は3年に1回受けるようお勧めします。研究の結果、それ以上頻繁に受診してもほとんど効果は変わらないことがわかっています。
- 子宮頸がんは、通常何年もかけてゆっくりと進行します。検診では、異常な細胞を発見し、がんに進行するのを防ぐことができます。
- 初めての検診や、5年以上検診を受けていなかった場合は、1年以内に再度検診を受けるよう勧められます。
- また、異常が見つかった場合などは、より頻繁に検診を受けるよう勧められることもあります。

図2 - 子宮頸がん検診の長所

検診を受けていない場合*	3年ごとの定期検診を受けている場合*
90人に1人が子宮頸がんを発症します。	570人に1人が子宮頸がんを発症します。
200人に1人が子宮頸がんにより死亡します。	1280人に1人が子宮頸がんにより死亡します。

*ニュージーランド国内推定値

子宮頸がん検診の方法

横向きまたは仰向けに寝て、膝を曲げるよう指示され、下半身がシートでおおわれます。検診者が膣鏡で膣をそっと広げ、細いブラシまたはほうき状の器具で子宮頸部の表面から細胞標本を採取します。所要時間はわずか数分です。その後標本は検査のため検査機関に送られます。

一部の受診者は検診中に不快感を感じますが、通常検診で痛みを感じることはありません。恥ずかしかったり、緊張している場合は、検診者にありのままの気持ちを伝えましょう。また、サポートしてくれる人を同伴しても構いません。なお、生理中は検診を受けないようにしてください。

あらゆる検診と同様に、子宮頸がん検診も100%有効というわけではなく、中には定期検診を受けていても子宮頸がんを発症する方もいます。発症リスクは抑えられますが、残念ながら検診でがんを完全に防ぐことはできません。現在では、HPV検査など他の検査の実施によっても、治療が必要かどうかを判断することができます。

HPV(子宮頸がん)ワクチン接種と検診

HPVワクチンの接種を受けた人も、子宮頸がん検診は続けなければなりません。

検診結果

子宮頸がん検診は非常に優れたがん検診方法ですが、いつでも完璧なわけではありません。

検査溶液に採取された細胞の数が少なかった場合は、再度検診を受けるように通知されます。

また、検査結果が異常であった場合、追検査を受けるよう通知されることもあります。ただし、検査結果が異常であっても、それががんによるものであることは非常に稀です。

検査結果が異常であると通知された場合は、再検診を受けるか、colposcopy(膣鏡診)を受けるよう専門医を紹介されます。こうした追検査の結果によっては、細胞に異常がなく、治療も必要ないとわかることもあります。

詳しい検査結果については、「**Cervical Screening: Understanding Cervical Smear Test Results**(子宮頸がん検診:検診結果について)」(パンフレットコードHE4598、英語版のみ)をお読みください。

検査結果の入手

検査結果は検診実施機関にお問い合わせください。結果が出るまでには通常2〜4週間を要します。当プログラムから通知を行うのは、検査結果に異常が見られる場合のみです。通知は郵送され、追検査を要する場合はそれについてもお知らせします。